

講習予備検査制度導入後 6 ヶ月の結果について

1 講習予備検査の実施状況（平成21年 6 月～11月）

受検者合計	第 1 分類（記憶力・判断力が低くなっている者）	第 2 分類（記憶力・判断力が少し低くなっている者）	第 3 分類（記憶力・判断力に心配のない者）
237,823人	5,770人（2.4%）	62,932人（26.5%）	169,121人（71.1%）

平成21年末現在の75歳以上運転免許保有者数は約324万人であり、免許証の更新が3年に一度であることを踏まえると、1年間に概ね100万人が受検すると見込まれるが、経過措置により、講習予備検査の対象となる者は免許証の更新期間満了日が平成21年12月以降の者とされているため、現時点においては上表に示す受検者数にとどまる。

（参考）平成18年 6 月及び 7 月に75歳以上の高齢者講習受講者1,596人に対して講習予備検査を試行実施した結果、第 1 分類：49人（3.1%）、第 2 分類：487人（30.5%）、第 3 分類：1,060人（66.4%）

2 臨時適性検査（専門医による診断）の実施状況及び処分状況

平成21年12月末現在、講習予備検査で「記憶力・判断力が低くなっている」と判定され、改正法の施行日である昨年 6 月 1 日以降（本来は更新期間満了日の 1 年前の日以降）に、信号無視や一時不停止等の特定の交通違反（基準行為）を行った者のうち、免許証の更新を行って臨時適性検査の対象となった者は17人である。

このうち、主治医の診断書を提出した者は 8 人、提出予定の者は 3 人、臨時適性検査を受けた者は 6 人である。

診断の結果、2 人（いずれも臨時適性検査による）が認知症であることが判明しており、取消処分となる。

なお、「記憶力・判断力が低くなっている」と判定され、かつ、高齢者講習において明らかに運転に支障が認められたことにより、警察に通報がなされた者のうち、免許を失効させた者が 9 人、免許を取り消された者が 16 人となっている。

3 「運転状況等に関するアンケート」の結果

平成21年11月16日から11月27日までの間（2週間）に、講習予備検査の受検者4,299人に対して実施した。

普段の運転頻度はどのくらいですか？（回答合計：4,240人）

ほぼ毎日：2,468名（58.2%） 週に数回：1,102名（26.0%）

週に 1 回程度：424名（10.0%） 月に 1 回程度：120名（2.8%）

ほとんどしない：79名（1.9%） 全くしない：47名（1.1%）

自分の運転能力をどのように考えていますか？（回答合計：4,181人）

自信がある：1,211名（29.0%） 自信がない：117名（2.8%）

普通の高齢者と同じくらいである：2,853名（68.2%）

質問項目によっては、無回答であったものがあるため、合計数は必ずしも一致しない。